



# めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



**9月定例会議、一般質問** P2~P7  
**視察受入中** P10

# 5人が登壇

9月定例会議で5人の議員が一般質問を行い、各議員が町政に対する課題や考えを問い質しました。質問と答弁を要約して掲載します。



**渡辺洋一郎 議員 P3**  
①「ひきこもり状態にある方の支援の充実を」



**堀切 忠 議員 P4**  
①「エネルギーの地産地消、持続可能なまちづくりについて」



**中田智恵子 議員 P5**  
①「食品ロス削減について」



**立川 美穂 議員 P6**  
①「芽室町子どもの権利に関する条例を生かしたまちづくりについて」



**正村紀美子 議員 P7**  
①「会計年度任用職員制度導入と今後の行政経営について」  
②「町外からの受け入れ体制を整え、有害鳥獣残渣処理施設の有効活用を検討しないのか」



質問に答弁する手島旭町長

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方を町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。年4回開催される定例会議（6月、9月、12月、3月）で一般質問することができます。

一般質問を行う議員は、議会初日（今回は3日）の翌日までに、用語や法解釈、事実関係の確認を行い、答弁を求める者（町長等）を指定して内容を通告します（通告内容はホームページで公開されます）。当日、90分の持ち時間の中で、議員は通告に基づき質問を行い、町長等は一括して1回目の答弁を行います。以降、一問一答形式で緊張感溢れる議論が進んでいきます。

町政を問う



渡辺洋一郎 議員

**質問** 本町の中高年も含めた「ひきこもり状態にある方」について、

- ① 実態把握やニーズ調査を実施しているか。
- ② これまでにどのような支援をしてきたのか。
- ③ 今後、どのような支援体制を構築していくのか。

**答弁** ①国による定義「社会的参加を回避し、原則6か月以上概ね家庭に留まり続けている状態」の15歳から64歳までの方は、国の比率である1・5%を本町に当てはめると160人程度と推計されます。

②平成27年度から芽室町自立支援協議会にひきこもり支援部会を設置し、関係課の担当者により生活実態把握や情報共有を図ることで、実際には26人をひきこもり状態として把握しています。

**ひきこもり状態にある方の支援のため、相談窓口を明確にし、周知を行うべき**  
町長／どの係が窓口となるかなどを整理・検討し、周知を図ります。

個々の家庭状況に合わせて、訪問や医療機関の紹介、関係機関と連携した社会参加に向けた取り組みを行っています。

③ひきこもり支援部会による情報共有と支援を、家族にも広げて継続するほか、心の健康に関する町民の意識も高まるよう、周知活動や健康講演会などを実施する考えです。

**質問** ひきこもり状態の方による殺傷事件が連続し、偏見を助長するような言論がメディアから流れているが、極めて稀なケースである。ひきこもり状態は本人の責任ではなく、孤立状態に至った複雑で多様な背景は、誰にでも起こり得ることであり、町も個人として尊重し、支援すべきと考え

**答弁** 事件後には厚生労働大臣から、ひきこもりと事件の結びつけは厳に慎むべきとの通知もなされ、様々な状況でひきこもり状態にならざるを得ない方が多々いることも承知しており、渡辺議員と同じ考えです。

**質問** 50歳代の子を80歳代の親が支える8050問題もあり、そういう方を社会から孤立させないためにも、芽室町の実態調査が必要ではないか。

**答弁** これまでの窓口業務、民生委員・町内会長など地域を知る方からの情報提供、介護認定時などの手法で実態把握するため、実態調査を行う考えはありません。  
**質問** 町で把握した26名の支援は継続され、ゴールはどこに設定されているのか。また、ひきこもり支援部会

ではケース事例の検討などを行っているか。

**答弁** 完全解決には至っていませんが、個別の状況は全て違うため、ゴールもケースに応じたものと考えており、ひきこもり支援部会など関係機関で協議して設定する考えです。

**質問** 役場職員だけではなく、民生委員や介護従事者向けの研修等による人材育成や、家族・当事者の会などの場の提供も検討すべきでは。

**答弁** 窓口の一元化や研修等による情報把握と理解の促進が重要と考えます。当事者や家族には知られたくないという感情もあります。個別に対応できるように体制を整備する考えです。



一般質問を終えて  
渡辺洋一郎

ひきこもりの状態にある方やその家族への支援については、これまでも社会問題として取り上げられてきましたが、制度のはざまにあつて支援が行き届かないという課題がありました。  
「ひきこもり」という言葉は日常的によく使われていますが、状態を表す言葉で病気の名前でもありませんし、ひきこもっていること自体が悪いことでも問題でもありません。

そして誰にでも起こり得るし、個人の自己責任でもありません。本人や家族が安心して相談できる支援の体制や相談窓口をわかりやすいようにしてほしいと求めました。  
これからも町民一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされ、住みやすい町、生きやすい町にするためにみなさんと一緒に考えていきたいと思います。



堀切 忠 議員

**質問** ①芽室町地域新エネルギービジョンの進捗状況と課題は。

②環境エネルギー問題の町長の認識と、重要な施策は。

**答弁** ①住宅用太陽光発電システム導入補助、木質バイオマスや地中熱の活用等により、中間年(2014年度)の二酸化炭素排出量削減目標に対する進捗率は56%と、順調に推移しています。家畜ふん尿処理のためのバイオガスプラント、美生ダムを活用した小水力発電の整備を目指しているものの、電力会社の送電線の空き容量不足により、発電する電気の連結が凍結されていることが課題となっています。

②災害をもたらす異常気象の要因として、温室効果ガスによる地球温暖化が指摘

企業も町民も再生可能エネルギーをメインとし、地域内で循環させていくべき

町長/エネルギータウンや産業の誘致などは考えていません

されており、帯広測候所は、今世紀末の十勝の平均気温が5度上昇、真夏日は30日程度出現すると予測しています。再生可能エネルギーの導入も含め、二酸化炭素排出量削減に貢献し、災害などに対応可能な地域循環型のエネルギー供給体制の実現に向けた研究・実践が必要と認識しています。地球環境の保全は全ての町民が自らの問題ととらえ、ゴミの適正分別による資源化、原料化など町・事業者・町民が環境対策を一つ一つ実践することが重要です。

**質問** 農業残渣の燃料化を断念されたが、体制などに問題がなかったのか。

**答弁** 長いもつるネット、小豆殻の処理を課題として進めましたが、研究機関の協力もあり、回収方法やボ

イラーなど技術は確立できたものの、コストの面が大きな課題となり最終的な判断をしたものです。関係課や学識経験者も含めた検討会議を作り、外部意見も踏まえて進めており、体制に問題はありませんでした。

**質問** 送電線の容量不足が課題であり、ブラックアウト対策の観点から始めている自治体があるが、地域マイクログリッド構築の考えはないか。

**答弁** マイクログリッドだけではなく、ガス化なども検討していますが、自治体の規模、財源的な余裕度も重要な観点であり、全家庭ではなく、災害対応する重要な施設に電気供給するシステムなどを検討する考えです。

町長/重要な視点であり、計画更新時期に盛り込みます

食品ロス削減を各計画に盛り込み推進すべき

理、分別等は早くから進めており、ゴミの減量は自治体の責務と考えています。分別が難しい、面倒という意見があることが課題と認識しています。

**質問** 規格外品、返品、売残りなどが発生する食品加工業が多い芽室町として、食品ロスの取組は重要であり、努力義務である「市町村食品ロス削減推進計画」を策定すべきではないか。

**答弁** 他の計画との整合、推進体制などの整理が必要であり、国の基本方針が定められない中での策定は、現時点では考えていません。

**質問** 法の趣旨では、食品ロス削減のためには、町民各層が主体的に課題に向き合い、町全体として食べ物

を無駄にしない意識の醸成と定着を図る必要があるこ

とから、町の最上位計画である総合計画に理念を反映すべきではないか。

**答弁** 総合計画は見直し時期があり、その際には食品ロスの明記が必要となると考えています。

**質問** 芽室町ごみ処理基本計画は、いつ、どのような視点で見直し作業を行うか。

**答弁** 令和2年度までの計画であり、次期策定の際には食品ロス記載が必要であり、同時に市町村食品ロス削減推進計画の策定についても検討する考えです。

芽室町が「くりりんセンター」に搬入したごみの処理量の推移【全体】(単位: t)

ごみの種類	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	対29年度比
可燃ごみ	3370.88	3297.7	3628.73	3363.48	3221.63	95.78%
不燃ごみ	611.47	640.2	871.74	657.94	639.64	97.21%
資源ごみ	828.93	858.79	912.23	922.43	908.29	98.46%

は明記されるのか、また、食育と食品ロスを同一部署で取り扱えないのか。  
**答弁** 重要な視点であり、食育推進基本計画にも今後追加すべき課題ですが、他の既存計画についても更新時期に合わせて盛り込む考えです。また、新規に策定中の農業振興計画においても議論を進めていきます。担当については、多岐にわたる部分もあり、国の方針も踏まえながら推進体制を検討します。

地域マイクログリッド  
需給調整力や事故検知・遮断機能等を有し、既存の配電線や自営線を使って災害時にも地域にある再生可能エネルギー等を活用して電力を供給できる設備



**質問** 再生可能エネルギーを核として企業誘致等を進める状況にはないと考えます。  
**答弁** 状況に応じた体制構築の可能性はありますが、現段階では考えていません。

に投資することが世界の流れである。再生可能エネルギーが供給できる地域に企業が集まり、供給できない地域からは企業が逃げていくという可能性について認識は。

一般質問を終えて 堀切 忠

今回質問した「エネルギーの地産地消、持続可能なまちづくりについて」は、地球温暖化が進む中、喫緊の課題として取り上げました。ここ数年、台風が大型化し各地に多大な被害をもたらしています。芽室町も3年前に被災しました。台風が強大化する要因として、海水温の上昇が要因の一つであるとされています。グレタさんが国連での演説で、「もしあなた方が私たちに裏切られることを選ぶなら、私は言います。『あなたたちを絶対に許さない』と。」

若者が安心して生活ができるよう、再生可能エネルギーを中心として、温室効果ガスの排出ゼロを目指し、エネルギーの地産地消により地域内で資金も循環させるまちづくりに向けて、引き続きこの課題に取り組んでいきたいと考えています。

一般質問を終えて 中田智恵子

もつたいないを意識して行動すること

日本では食べられるのに廃棄される食品が、世界全体の食料援助量の約2倍に匹敵するという現状を知ることから、日頃の生活を見直していくことが重要であり、そのために一人一人が理解と関心を高めていく意識啓発のための環境づくりが大切であると考えます。買い物の際には、事前に冷蔵庫などをチェック、必要な食材をこまめにゲット、手前に陳列されている食品をチョイスするなど出来ることから実践していきたいと思えます。

町政を問う



中田智恵子 議員

**質問** 本年5月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が公布されたが、食品ロスに対する認識は。

**答弁** 公布された法律の施行は10月となり、国の基本方針が定まらない中での答弁となりますが、第5期芽室町総合計画の施策に廃棄物の抑制と適切な処理を掲げたほか、食べ物や無駄なく、大切に消費することは重要な課題と認識しており、消費者教育の推進、学校現場をはじめとする食育にも関連する問題として、法律や関連計画との整合を図りながら複数の担当で総合的に取り組む考えです。

**質問** 近年、中間廃棄物処理場に持ち込まれるゴミの量は減っていない状況の認識は。

**答弁** 本町のゴミの適正処



次のページは町政を問う

一般質問・立川議員「一般質問・正村議員」



立川 美穂 議員

### 子どもの権利に関する条例の基本理念は町政にどう生かすか

町長／郷土愛を持ち、能動的に町に興味を持ち疑問を持ってもらうための意識づくり

**質問** ①「町は基本理念に基づき、子どもの権利を尊重し、あらゆる施策を通してその保障に努める」を踏まえた具体的な施策はあるか。  
②条例には、子どもの参加する権利保障、意見を聴く会議の開催と意見の尊重などが明記されているが、実施事例及び権利を保障するための支援は。

**答弁** ①子どもの権利に特化した施策はありませんが、発達支援システム、子どもの居場所作り、飛び出す教育委員会などを、子どもの権利に配慮すべき事務事業として行っているほか、子どもの権利擁護の推進のため、講演会、出前授業を通し、啓発、周知に努めています。全ての施策において子どもの権利を意識し、今後も総合性を持って進める

**質問** 子どもの育ちに関することが、町長、教育委員会と部署が変わる。子どもが参加するまちづくりを進めるため、様々な部署が一緒に取り組む、人づくりに特化した一本の計画が必要ではないか。  
**答弁** これまでも教育委員会と町は十分連携していま

考えです。

②第5期芽室町総合計画策定では中・高校生のワークショップ、ピウカ川親水公園整備基本設計作成では、西子どもセンターでのワークショップを実施し、教育委員会においては各中学校生徒会と教育委員の意見交換会が実施されています。子ども達がまちづくりに参加し、意見を表明する機会を町内各分野で発掘し、実施に向けた取り組みを進めます。

**質問** 子ども達に利用者の立場で自分事として話してもらえませんでした。遊具や水遊びの意見のほかに、雨でも勉強できる場所が欲しいとの声から、東屋内に椅子とテーブルを設

置することになり、成果の一つと考えます。  
**質問** 子どもの声を聞く会議の開催は、定期的なものとすべきではないか。  
**答弁** 現時点では、各施策でテーマを絞った方が効果的との考えから、自主的、固定的、定期的な会議は開催しませんが、将来的には、子ども達が次の世代に引き継げる自ら運営できる会議体ができるきっかけづくりを考えています。  
**質問** 子ども達の意見に対して大人の事情を説明して終わりにするのはなく、対話に発展させ、一緒に課題を解決するプロセスを学ぶことで、子どもが社会参加するための支援に繋がるのではないか。  
**答弁** この部分には子どもの意見が取り入れられないかという発想、意識を職員が持つところから始めていく必要性を感じています。めむる未来ミーティングの活用もできますので、大人だけが対象ではないというPRも行っています。



正村紀美子 議員

### 会計年度任用職員制度

町長／制度導入を契機に効率的かつ効果的な行政運営を進めていきます。

**質問** ①会計年度任用職員制度に移行する職種・業務分担の考え方は。  
②制度導入に伴うコスト増加に対する財源確保はどのようにするのか。  
③町が目指す「戦略的な行政経営」をどのように具体化するのか。

**答弁** ①制度の対象となる臨時・非常勤等職員は11分野51職種で311人です。業務の内容や時間だけでなく業務の専門性や特殊性も含めて制度に移行する職員を考えます。

②本制度は同一労働同一賃金実現が趣旨であり、期末手当等も支給することになるのでコストは増加すると見込んでいます。財源は一般財源で対応します。

③本制度の導入をきっかけに業務のスクラップアンドビルド、組織体制や職員定数の見直し、民間活力の活

用を柱に新たな行政運営体制を作る考えです。

**質問** 臨時・非常勤等職員は公立芽室病院で働く人が多いが、制度に移行する職員となるのか。  
**答弁** 看護師は非常に重要な職であり、今後の病院経営と併せて検討します。

**質問** 業務のスクラップアンドビルドはどのように進めるのか。  
**答弁** 次年度予算を編成する中で整理します。事務事業を見直して職員が住民との直接対話をする時間を確保し、結果として行政に対する信頼が高まることを期待しています。

**質問** 町民のためのサービスは正職員314人と臨時・非常勤職員311人で担われておりその経費は28億円である。町民ニーズの多様化と職員定数の考え方は。

ですが、一つの施策で担当を一元化する場合、組織的なハードルがあり特に学校現場は校長の裁量もあるため、現時点では難しいと考えますが、

**質問** 子どもとは直接関係ない部署においても、子どもを意識するだけで事業の視野が広がる。本町もピウカ川親水公園整備に子どもワークショップを取り入れたが、新たな気づきはあったのか。  
**答弁** 子ども達に利用者の立場で自分事として話してもらえませんでした。遊具や水遊びの意見のほかに、雨でも勉強できる場所が欲しいとの声から、東屋内に椅子とテーブルを設



### 有害鳥獣残滓処理施設の活用

町長／地域住民の理解など課題解決を進め、広域的な施設利用も検討していきたい。

**質問** ①これまでの残滓処理施設の稼働状況は。  
②今後の施設活用の見通しはどのようか。

**答弁** ①残滓処理施設は平成27年9月から供用を開始し、処理量は年々増加しており、その80%がシカとなつています。  
②施設の処理能力は年間36・5トンで、平成30年度の処理量はその1/3であり余力はあります。処理能力の面からは町外からの受け入れは可能ですが、受入れのルールづくりなど課題があります。地域住民の方と十分に話し合いをしながら検討します。

置することになり、成果の一つと考えます。  
**質問** 子ども達の意見に対して大人の事情を説明して終わりにするのはなく、対話に発展させ、一緒に課題を解決するプロセスを学ぶことで、子どもが社会参加するための支援に繋がるのではないか。  
**答弁** この部分には子どもの意見が取り入れられないかという発想、意識を職員が持つところから始めていく必要性を感じています。めむる未来ミーティングの活用もできますので、大人だけが対象ではないというPRも行っています。

一般質問を終えて  
立川 美穂

子どもたちに保障されている子どもの権利には生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利の四つがあります。そのうち、直接子どもたちの生命を脅かすことに繋がりにくい「参加する権利」についてはこれまで「大人の都合」でしか子どもが参加する機会を設けてこなかったと考えています。子どもが自ら権利を行使するためには、学びの場や多様な子どもたちの意見を聴く場が必要と考え、今回の一般質問に取り組みました。9月に国連でスピーチをおこなった16歳のスウェーデン人環境活動家グレタ・トゥンベリさんのように、社会への課題提起が出来る子どもたちが沢山増えてくると素敵だと考えています。

一般質問を終えて  
正村紀美子

近年「経営」や「マネジメント」という言葉が行政運営の現場で使われるようになってきました。行政経営とは、目に見える「成果」を上げ続けられる仕組みを作り、持続可能な行政運営をしようという考え方。これまで官事業者が参入したり、行政がコストを追求するなど効率的な手法が検討されてきました。最少の経費で最大の効果を挙げることとはもつとですが、経営を追求するあまりに町民の利益と相反することがないようこれからもしっかりチェックしていきます。

第7回 10月8日(火)  
芽室町職員の懲戒処分公表

至急説明すべき事案の申し出があり、手島町長、佐野副町長等の出席のもと、10月8日付けで職員の懲戒処分等を行った旨の報告及び謝罪がありました。

処分内容は、公立芽室病院3階女子トイレに盗撮目的で小型カメラを設置した診療部長(59歳)を、地方公務員法第33条違反(信用失墜行為の禁止)にあたるものとして懲戒免職とし、管理責任として院長(66歳)に訓告の措置とのことでした。

議員からの質疑に対し、「設置した行為に対する処分であること」、「発覚後(9月29日)から公表までに処分指針の確認や懲戒審査委員会の調整等に時間を要したこと」、「診療体制への影響は即答できないこと」、「他の職員に対する公表も本日であること」、「発覚後に診療部長は診察していな

いこと」などの答弁がありました。

その後、「犯罪行為の調査ではなく、再発防止策の調査が議会の務めである」、「現場責任者から医師・スタッフに対する姿勢や経営改革の考え方について説明を求めるべき」などの議論があり、病院が経営改革を進める中で、信頼回復という部分に対して議会も一緒に考えていく必要があるとの考えで一致しました。

今後は、所管の厚生文教常任委員会において、これまでの経営改革に加え、信頼回復及び診療体制を政策課題として追加し、調査を継続していくこととしました。



10月の委員会活動報告

第12回 10月30日(水)  
調査内容

公立芽室病院の診療体制等の変更について

外科医師の免職に伴い、内科・総合診療科は、外科からの応援が困難となり、木曜日の午前はこれまでの4診察室から3診察室に、外科はこれまでの3人から2人体制にそれぞれ減少し、旭川医大第1外科から診療応援を受け、第2・第4金曜日の診療・当直は担っていたく予定だが、常勤医師の確保は難しい状況との報告がありました。

また、安心して来院・働くことができる職場環境の確保対策として、盗聴・盗撮機器の調査を専門業者により実施し、問題ないことを確認したこと、セキュリティ対策として院内に防犯カメラを設置する(12月予定)こと、心理士による職員の心のケアを実施していること、働き方改革に伴い勤怠管理システム運用することも併せて報告を受けました。

また、外科外来診察数は事件前の9月が382人、事件後の10月が377人と、大きく減少はしていない状況とのことでした。

議員からの、「経営改革への影響の見直し」との質疑に対し「収入増加、患者増加に医師は必須であり、今いる医師の当直が多くなるなど影響はある」、また、「女性が多い職場であり、コミュニケーションによる職場内でのケアも必要では」との質疑に対し「10月中に総看護師長が全看護師と面談をし、直接対話を行っている」との答弁がありました。

その後の自由討議では、今後の調査について、「今後の病院経営の観点で調査すべき」、「損なわれた信頼をどう回復するかが課題」、「報道でしか分からず、憶測の話が広がる状況に対し、町・病院がどう説明責任を果たすか」という観点が必要などの意見があり、信頼される病院にという視点で、今後の調査方針は正副委員長に預けました。

第11回 10月23日(水)  
第12回 10月29日(火)

主な調査内容  
会計年度任用職員制度の導入について

地方自治法改正に伴い、来年度から導入される制度について、待遇は国の基準に準拠すること、病院、現場合わせて303名が適用対象となることなどが総務課から示されました。

議員からの質疑に対し、「職員定数に含まないため、正職員としない」、「対象者には任用制度が変わるという説明はしている」、「実施当初は現行基準を当てはめて運用するが、その後改善を検討する」などの答弁がありました。

今後、対応する条例の提案が予定されています。

令和元年度「芽室町除雪計画」について

建設都市整備課から、除排雪出動基準を「10〜15cmを超える

場合」に変更するなどの説明がありました。

質疑により、除雪前のパトロールによる注意喚起や目印設置、芽室交番と協力したパンフレット配布により構造物等の破損防止や駐車禁止対策を行っていただきますが、民地は協力依頼のみ、夜中の作業は路上駐車対応が難しいなどの点も明らかとなりました。

サイクルツーリズムについて

商工観光課から事業の説明を受けた後、実際に「めむろ散走」を体験しました。新嵐山スカイパークから農業者宅を訪問し展望台を巡る10km程度の走行でしたが、農業者のお話や、自力で登り切る展望台など、新たな発見がありました。実際の事業には海外からの参加もあり、今後の展開にも注目していきます。



第12回 10月30日(水)  
主な調査内容

社会体育施設再整備構想(素案)について ほか

老朽化が進み適正な更新や維持管理が求められる、ニーズの多様化による要望も多くなっている社会体育施設について、「施設整備優先度の明確化」、「安全・安心な施設整備」、「経済的な施設整備」と安定的な施設運営」を基本方針とする構想を年内に策定することについて社会教育課から説明がありました。

「利用団体からの意見を構想や計画にどう反映するか」、「周辺の歩道整備なども含めて考えるべき」、「防災や避難施設の役割も考慮されるか」などの質疑に対し、「意見交換は行っており、利用実績も踏まえ考慮する」、「施設内のユニバーサルデザインの考え方や、道路整備等も関係課と調整する」、「役場全体で配慮した取組みを進める」との答弁がありました。

管外視察  
先進地事務調査  
10月16日・17日  
赤平市・奈井江町・三笠市

「公立病院の経営安定・健全化を図るための方策について」をテーマに、あかびら市立病院と奈井江町立国民健康保険病院、「コミュニケーション導入による成果と今後の課題について」をテーマに三笠市教育委員会を事務調査させていただきました。

公立芽室病院の経営改善と空き病棟(3階)の活用に関する事項、今年度から本町でも導入されるコミュニケーションについては、厚生文教常任委員会の重点課題でもあり、説明いただいた内容を精査しながら、今後の調査を継続していきます。



ぞくぞく

## 全国各地の議会から視察受入中

芽室町議会は、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査ランキングにおいて、2014年度から5年連続で全国1位の評価を受けていることなどの背景もあり、毎年30件前後の視察をいただいています。

定例会議開催月(6、9、12、3月)を除き、「議会改革」「ICT(ペーパーレス化)」などについて、議長、副議長、議会運営委員が説明・対応しています。

### 令和元年度の視察受け入れ一覧

No.	日付	自治体名	視察内容	人数
1	6月27日(木)	東京都奥多摩町議会総務文教・経済厚生常任委員会	議会のICT化(ペーパーレス化)役場庁舎建設に係る過程について	15
2	7月2日(火)	青森県八戸市議会議会運営委員会	芽室町議会災害時対応基本計画について芽室町議会ICT推進計画について	12
3	7月4日(木)	栃木県下野市議会議会運営委員会	議会改革及び活性化の取り組みについて	9
4	7月10日(水)	宮城県亘理地方町議会議長会	議会改革の取り組みについて	5
5	7月17日(水)	美深町議会議会運営委員会	町民に対する分かりやすい議会等の取り組みについて	7
6	7月23日(火)	岡山県倉敷市議会ICT化推進検討会	議会のICT化について	7
7	7月24日(水)	静岡県伊豆市議会総務経済委員会	議会改革について	9
8	7月25日(木)	東川町議会議会改革等特別委員会	議会基本条例の経緯及び成果、その後の経過等について議会改革の取組みについて	13
9	7月30日(火)	栃木県大田原市議会議会運営委員会	議会基本条例と議会改革の取組みについて政策形成サイクル・議員研修計画について	9
10	7月30日(火)	新ひだか町議会議会運営委員会	議会改革について議会運営について	7
11	7月31日(水)	徳島県藍住町議会	議会改革についてICT推進計画について	14
12	7月31日(水)	福島県会津坂下町議会議会改革特別委員会	議会改革・活性化計画について議会報告と住民との意見交換について議会ICT導入について議場見学	11
13	8月1日(木)	福島県南相馬市議会議会運営委員会	議会改革の取組みについて	11
14	8月7日(水)	宮城県美里町議会議会運営委員会	芽室町議会の議会運営と議会活性化策について	8
15	8月7日(水)	留萌市議会	ペーパーレス化(タブレットの活用)について議会モニター制度について	17
16	10月1日(火)	占冠村議会	議会改革について	8
17	10月1日(火)	石川県中能登町議会	議会活性化の取り組み	10
18	10月2日(水)	沖縄県宜野座村議会	議会活性化について	13
19	10月3日(木)	和歌山県かつらぎ町議会広報広聴特別・議会運営委員会	議会フォーラムと政策形成サイクル議会活性化計画の取り組み	12
20	10月8日(火)	神奈川県湯河原町議会議会運営委員会	政策形成サイクルをはじめとする議会改革の取組みについて議会ICT推進計画、特にタブレットの活用について	10
21	10月8日(火)	洞爺湖町議会	議会におけるタブレットの使用について	13
22	10月9日(水)	三重県四日市市議会	議会改革の取組みについて	12
23	10月17日(木)	佐賀県三養基郡町村議会議長会	議会改革の取り組みについて	6
24	10月17日(水)	夕張市議会行政常任委員会	議会改革について	10
25	10月24日(木)	広島県三次市議会議会運営委員会	議会活性化計画について住民参加策を進める取組みについて	13
26	10月30日(水)	増毛町議会 議会運営委員会	議会運営及び議会改革ICT化への取組(主にタブレット導入)等について	7
27	11月21日(木)	猿払村議会総務経済常任委員会	予定	
28	11月26日(火)	沼田町議会議会改革特別委員会	予定	

## 議会白書 令和元年10月 延べ12時間32分活動しました!

会議名	日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数	
常任委員会	第11回	10月23日 11:00~15:25	1:34	2:51	1. 議会モニター会議のテーマ設定について 2. 令和元年度抽出事業について 他	5	58
	第12回	10月29日 9:30~11:06	0:14	1:22	1. 会計年度任用職員制度の導入について 2. 令和元年度建設工事の発注状況について 他	1	108
	厚生文教	第12回	10月30日 13:30~16:16	0:15	2:31	1. 公立芽室病院の診療体制等の変更について 2. 平成30年度指定管理者評価結果について 他	1
議会運営委員会	第11回	10月3日 9:30~12:04	0:27	2:07	1. 議会だより10月号について 2. 議会だより11月号の編集企画について 他	1	69
	第12回	10月28日 9:30~10:29	0:00	0:59	1. 議会だより11月号の編集について 2. 芽室高校生徒との意見交換について 他	1	188
全員協議会	第7回	10月8日	0:02	0:42	1. 「軽装推奨期間」設定への対応について 他	2	159
小計		13:04	2:32	10:32	計11	平均106.3	
厚生文教常任委員会所管事務調査	10月16日~17日			(視察先:赤平市・奈井江町・三笠市) ・公立病院の経営安定・健全化を図るための方策について ・コミュニティスクール道内初導入自治体のこれまでの成果と今後の課題について			
十勝町村議会議員研修会	10月28日 13:30~15:30	0:00	2:00	・北海道十勝総合振興局長 三井 真氏 「とちカラ未来へ」			
小計		2:00	0:00	2:00	計11	平均106.3	
合計		15:04	2:32	12:32	計11	平均106.3	

次のページは「議会モニターの声」編集後記



議員研修会

十勝町村議会議長会主催の研修会が10月28日(月)に足寄町で開催され、14名が参加しました。「とちカラ未来へ」と題し、北海道十勝総合振興局長の三井真氏が講演を行いました。

## 追跡 一般質問のその後

過去の一般質問が、その後、町は検証・検討・協議を経て、町の政策、事業にどう反映されたのかを追跡します。

あらゆる世代への良質な給食提供で 給食日本一の町へ

立川 美穂 議員 (平成29年6月)

**質問** 高齢者が健康に暮らしていくため、町内業者が行う配食サービスにも町の管理栄養士が関わり、あらゆる世代への良質な給食提供で「給食日本一の町」を目指すべき。

**答弁** 町長 町もある程度の仕様書に準じるものは出しており、今後も意見交換などの協議は実施していきます。

**その後** 令和元年10月より、高齢者食事サービス事業を拡大し、管理栄養士が作成する献立の提供が出来る業者との協定締結を行いました。



総務経済常任委員会自主勉強会

10月23日、29日に、建設都市整備課、企画財政課の協力により「公園」「中期財政計画」などについての知見を得るため、自主勉強会を開催しました。対応いただいた職員の皆様ありがとうございました。



過去の受入件数	
H27	27件
H28	28件
H29	31件
H30	19件



視察内容ランキング	
1	モニター会議
2	町民との意見交換
3	タブレット活用

# 議会モニターの声



議会だよりから情報



大谷留美子  
モニター

仕事の関係で議会モニターとして議会を傍聴してませんが、モニターとなり今まで以上に読むようになりました。町における様々な活動を知ることが多く驚いています。No.206議会だよりでは、思った以上に町の重要事項が載っており、何にどれほどのお金を使ったのか、また議会で行われていた答弁など実際に議会を見るのができなくても、どの議員さんも芽室町のことをしっかりと考えてくれていることを知りました。議会だよりに目を通して是非時間に都合がつけばその大事な議論を生で見たいです。

モニターをきっかけに



長崎 義和  
モニター

この度初めて議会モニターとして役割を担い、町政に関して興味を持つ良いきっかけとなりました。これまでは、身近に起きていること以外にはなかなか関心を持つことができないというのが実態であり、私以外でもそういった方々は少なくはないと思います。そうした現状の中、議会としての取り組みを様々な発信方法(議会だより、インターネット中継、SNS等)によつて知ることができ、今までは無かった感覚(意識をして見る)を持つようになり、あらためて、知ることの大切さに気付かされました。今後のステップと

して、ぜひ議会の傍聴を体験し、もう一段階進んだ視点から議会の運営・町政というものを知っていきたいと思っています。

## 表紙写真

収穫の秋が続いています。「大きいサツマイモが沢山とれてよかったです。焼き芋もおいしかったのでまた焼き芋を作りたいです。」と吉田快斗君(7才)。



## 議会傍聴で芽室の未来が見える！



インターネット中継は  
こちらから視聴できます。  
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。  
(0155-62-9731)



## 12月定例会議の御案内



3日	9:30~	初日
17日・18日	9:30~	一般質問
20日	9:30~	最終日

## 編集後記

委員会の先進地事務調査があり、赤平市、三笠市、奈井江町に行き、自治体病院とコミュニケーションについて調査しました。しっかりと生かしていけるように取り組みます。



渡辺洋一郎

朝晩の空気の冷え込みと共に日高山脈も日に日に白い色が目立つようになつてきました。自動車のタイヤの交換等長い冬の準備はお済みでしょうか。



常通直人

我々議会の原動力はなんといっても町民の皆さんからいただく「声」。議会モニター会議、PTAや各団体との意見交換会など、皆さんのもとに赴いた際には沢山の「声」をお聴かせ下さいませ。今月から編集後記は厚生文化常任委員が担当です。どうぞよろしくお願い致します。



立川美穂



友だちになってね!!  
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介  
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント  
@memuro\_gikai



公式 facebook ページ  
http://www.facebook.com/memuro.gikai